

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : ミナパック 一般品 (ポリエチレン製気泡緩衝材)
会社名 : 酒井化学工業株式会社
住所 : 福井県鯖江市川去町32字2-1
担当部門 : 品質保証グループ
電話番号 : 0778-62-3708
FAX番号 : 0778-62-3030
緊急連絡電話番号 : 0778-62-3708
整理番号 : SK-MP001-10
推奨用途及び使用上の制限 : 容器包装等

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 該当なし
GHSラベル要素
絵表示またはシンボル : 非該当
注意喚起後 : 非該当
危険有害性情報 : 非該当
注意書き : 非該当

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : ポリエチレン
成分 :

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法		PRTR	毒劇
				表示	通知		
ポリエチレン	>99	9002-88-4	(6)-1	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
その他添加剤	<1	-	-	-	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合 : 高温の熔融樹脂から発生するガスを吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合 : 熔融物が付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけ十分冷却し、汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合 : 清浄な水で数分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、隅々まで水がよくいきわたるように洗浄する。
応急措置をする者の保護 : 口の中に残っているものを吐き出させ、水でよく口の中を洗浄する。
多量に飲み込んだ場合や気分が悪いときは医師に連絡すること。
熔融物が付着した際などは、汚染された衣類や保護具を取り除く。
救助者が熔融物に触れないよう手袋を使用するなど注意する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : 情報なし
火災時の特有の危険有害性 : 燃焼ガスには一酸化炭素が含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないよう注意する。
特有の消火方法 : 消火作業は、風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
周囲の設備等に散水して冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。
移動可能な製品は、速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護 : 消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・床面に残ると滑りやすいために注意する。
- ・作業の際には保護具(製品の性状に適したものを指定する)を着用し、粉じんガスを吸入しないようにする。
- ・付近に着火源となるものを除く。【引用文献1】

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

- ・漏出したものをすくい取り又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

二次災害の防止

- ・付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

- ・作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。

取扱者のばく露防止の記載

- ・取扱いは、換気の良い場所で行う。
- ・取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

- ・情報なし。

衛生対策

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

- ・換気の良い場所で、保管する。
- ・日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

- ・クラフト紙、ポリエチレン袋など

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

- ・設定されていない。

設備対策

- ・換気の良い場所で行う。

保護具

- ・特段の危険性はないが、作業により必要に応じ適宜以下の保護具を着用する。

呼吸用保護具:	防塵マスク
手の保護具:	保護手袋
眼の保護具:	保護眼鏡(安全眼鏡、安全ゴーグルなど)
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)

物理的状态	固体
形状	気泡状成形部を有するシート
色	透明
臭い	ポリエチレン臭
pH	該当せず
融点・凝固点	100 ~ 135℃
引火点	335 ~ 450℃
溶解度	【引用文献2】
水に対する溶解度	不溶。
溶媒に対する溶解度	多くの溶媒に溶けにくい、芳香族炭化水素には比較的溶ける。

10. 安定性及び反応性**反応性**

自己反応性なし

化学的安定性

通常の取り扱いでは安定。

危険有害反応可能性

通常 of 取り扱いでは危険有害反応を起こさない。

避けるべき条件

直射日光、水濡れ、急激な温度変化

混触危険物質

情報なし

11. 有害性情報**急性毒性**

情報なし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

物理的な刺激がある

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

物理的な刺激がある

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

IARCの発がん性区分でグループ3(ヒトに対して発ガン性について分類出来ない)に分類されている。【引用文献3, 4】

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器 単回ばく露

情報なし

特定標的臓器 反復ばく露

情報なし

吸引呼吸器有害性

情報なし

12. 環境影響情報**生体毒性**

情報なし

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

オゾン層破壊物質は使用していない

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意**国際規制**

該当せず

緊急時応急措置指針番号(NAERG)

該当せず

国内規制

消防法における指定可燃物に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

その他転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
直射日光を避けて輸送する。**15. 適用法令**

◎ 化学物質排出管理促進法

該当せず

◎ 労働安全衛生法 通知・表示義務物質

該当せず

◎ 有機則、特化則

◎ 毒物及び劇物取締法

該当せず

◎ 消防法

指定可燃物(合成樹脂類) (3,000kg)

16. その他情報

引用文献

- 1) 樹脂ペレット流出防止マニュアル
(日本プラスチック工業連盟、1993年2月)
- 2) 分子材料便覧
(編者:財団法人高分子学会,発行:コロナ社昭和48年2月20日初版発行)
- 3) IARC MONOGRAPH SUPPLEMENT No.7
Overall evaluations of carcinogenicity: An updating of IARC Monographs, Volume 1 to 42 (1987)
- 4) プラスチックス, Vol.26, No.3, P20

記載内容について

この安全データシートは JIS Z 7253(2012)に基づいて作成しております。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。

制定日 1998年 1月 20日

改訂日 2020年 3月 6日 第10版

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : ST塗装シート
会社名 : 酒井化学工業株式会社
住所 : 福井県鯖江市川去町32字2-1
担当部門 : 品質保証グループ
電話番号 : 0778-62-3708
FAX番号 : 0778-62-3030
緊急連絡電話番号 : 0778-62-3708
整理番号 : SK-F005-01
推奨用途及び使用上の制限 : 容器包装等

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 該当なし
GHSラベル要素
絵表示またはシンボル : 非該当
注意喚起後 : 非該当
危険有害性情報 : 非該当
注意書き : 非該当

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : ポリエチレン
成分 :

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法		PRTR	毒劇
				表示	通知		
ポリエチレン	>99	9002-88-4	(6)-1	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		25087-34-7	(6)-18	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		25213-02-9	(6)-1594	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		26221-73-8	(6)-1619	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
その他添加剤	<1	-	-	-	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合 : 高温の溶融樹脂から発生するガスを吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合 : 溶融物が付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけ十分冷却し、汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合 : 清浄な水で数分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、隅々まで水がよくいきわたるように洗浄する。
応急措置をする者の保護 : 口の中に残っているものを吐き出させ、水でよく口の中を洗浄する。
多量に飲み込んだ場合や気分が悪いときは医師に連絡すること。
溶融物が付着した際などは、汚染された衣類や保護具を取り除く。
救助者が溶融物に触れないよう手袋を使用するなど注意する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : 情報なし
火災時の特有の危険有害性 : 燃焼ガスには一酸化炭素が含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないよう注意する。
特有の消化方法 : 消火作業は、風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
周囲の設備等に散水して冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。
移動可能な製品は、速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護 : 消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・床面に残ると滑りやすいために注意する。
- ・作業の際には保護具(製品の性状に適したものを指定する)を着用し、粉じんガスを吸入しないようにする。
- ・付近に着火源となるものを除く。【引用文献1】

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

- ・漏出したものをすくい取り又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

二次災害の防止

- ・付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

- ・作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める

取扱者のばく露防止の記載

- ・取扱いは、換気の良い場所で行う。
- ・取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

- ・情報なし

衛生対策

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

- ・換気の良い場所で、保管する。
- ・日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

- ・クラフト紙、ポリエチレン袋など

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

- ・設定されていない。

設備対策

- ・換気の良い場所で行う。

保護具

- ・特段の危険性はないが、作業により必要に応じ適宜以下の保護具を着用する。

呼吸用保護具:	防塵マスク
手の保護具:	保護手袋
眼の保護具:	保護眼鏡(安全眼鏡、安全ゴーグルなど)
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)

物理的状态	固体
形状	10 μ m ~ 200 μ m の厚みを有するフィルム
色	透明・半透明
臭い	ポリエチレン臭
pH	該当せず
融点・凝固点	100 ~ 135°C
引火点	335 ~ 450°C 【引用文献2】
比重	0.910 ~ 0.975g/cm ³
溶解度	
水に対する溶解度	不溶。
溶媒に対する溶解度	多くの溶媒に溶けにくい、芳香族炭化水素には比較的溶ける。

10. 安定性及び反応性

反応性

自己反応性なし

化学的安定性

通常の取り扱いでは安定。

危険有害反応可能性

通常の手扱ひでは危険有害反応を起こさない。

避けるべき条件

直射日光、水濡れ、急激な温度変化

混触危険物質

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

情報なし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

物理的な刺激がある

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

物理的な刺激がある

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

IARの発がん性区分でグループ3(ヒトに対して発ガン性について分類出来ない)に分類されている。【引用文献3, 4】

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器 単回ばく露

情報なし

特定標的臓器 反復ばく露

情報なし

吸引呼吸器有害性

情報なし

12. 環境影響情報

生体毒性

情報なし

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

オゾン層破壊物質は使用していない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

該当せず

緊急時応急措置指針番号(NAERG)

該当せず

国内規制

消防法における指定可燃物に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

◎ 化学物質排出管理促進法

該当せず

◎ 労働安全衛生法 通知・表示義務物質

該当せず

◎ 有機則、特化則

◎ 毒物及び劇物取締法

該当せず

◎ 消防法

指定可燃物(合成樹脂類) (3,000kg)

16. その他情報

引用文献

- 1) 樹脂ペレット流出防止マニュアル
(日本プラスチック工業連盟、1993年2月)
- 2) 分子材料便覧
(編者:財団法人高分子学会,発行:コロナ社昭和48年2月20日初版発行)
- 3) IARC MONOGRAPH SUPPLEMENT No.7
Overall evaluations of carcinogenicity: An updating of IARC Monographs, Volume 1 to 42 (1987)
- 4) プラスチックス, Vol.26, No.3, P20

記載内容について

この安全データシートは JIS Z 7253(2012)に基づいて作成しております。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。

制定日 2019年 12月 27日
改訂日